



事業活動：「対話化、見える化、つづける化を当たり前！！」を実践

EUPATI Toolbox 翻訳版の利活用法を改善する協働など

- EUPATIとの協働
 - 未翻訳コンテンツの翻訳要否判断および翻訳作業、out-of-dateのコンテンツの特定と削除・更新（EUPATI本体主導による各国翻訳版のレビューとAIによる翻訳作業を実施する計画に沿って履行：再度EUPATIと相談の上、協働作業者を募り履行
- EUPATI Toolbox翻訳版では網羅できない日本の薬事・医療制度等に関する情報整理と関係団体との協働
 - 関係団体へ提案した内容を協働作業者を募り履行

2 患者・市民参画の普及啓発を推進する情報発信

- “つながるイベント” 企画、開催（春、秋の年2回開催を予定）
 - “つながるイベント” 企画WGの計画に沿って第2回つながるイベントを秋に開催予定：第3回 5月22日（金）、第4回 10月／11月
- 「日本におけるPPI活動を知ろう」セミナー開催（4回／年）
第18回 6月／7月 第19回 9月／10月 第20回 12月／1月 第21回 2027年3月（RDD-PPI）
- 広報・情報発信
 - PPI JAPANの活動の外部発信を企画・実践
 - 役員・運営委員各自が様々な学会・講演集会等で発表する際に、PPI JAPANへの所属と、法人の紹介を発信するためのメッセージやスライド、チラシなどの資材準備
 - 疾病に連動する学会や疾患特有の学会ではない、より広範な会議（臨床試験学会や公衆衛生学会など）において「PPI（患者・市民参画）を紹介する」、「患者・市民と研究者の対話の場の設定する」、あるいは「臨床研究におけるPPIの意義と課題を考える」などを目的としたイベント開催やブースの設置を企画

事業活動：「対話化、見える化、つづける化を当たり前！！」を实践**3 レイサマリーの普及啓発活動**

- 「治験に係る情報提供の取扱いについて」（令和8年3月）を受けた普及啓発活動
勉強会・意見交換会の実施
日本CR0協会（レイサマリー全般に関する講演：4/23）
製薬協（勉強・意見交換会あるいはワークショップ）
レイサマリー作成ガイドの更新
公的ガイダンス化へのロードマップ作り
- レイプロトコールシノプシス日本語ガイドの作成・公開
GLPSP 完成後に作成を開始（2026年後半を想定）
準備チームの発足（5月後半～：ただし、GLPSP作成の進捗による）
製薬協タスクフォースとの連携
アカデミアとの連携
- eラーニング資材の作成・公開
はじめて学ぶ「研究への患者・市民参画」のプログラム拡充として、eラーニングプログラムを作成・公開
- AMED事業「治験・臨床試験レイサマリーの普及促進に資する研究」の受託業務
- 上記活動を通じて新メンバーを募り、人材拡充

事業活動：「対話化、見える化、つづける化を当たり前！！」を実践

- 4 新しい医療技術や医薬品の開発に関するトレーニングプログラムに関する調査・企画・連携
- 国内で既に提供されている研修プログラム（対象と内容）を調査、整理するとともに、研修ニーズや研修対象に合わせたPPIリテラシー向上を目指すプログラムを特定する
 - 他団体により既に提供されている研修プログラムを法人として認証する利点、問題点等を整理し、運営方針を明確化する
 - 研修ニーズ、研修対象を確認し、法人としての優先順位を明確にし、その上で、実施運営体制を整備・構築し、実装を目指す
 - EUPATI Toolbox日本語版を含め、EUPATIのプログラムを有効活用する
 - 既存の研修プログラムでは充足されていない対象（例えば、業務として担当に指名された人等）を特定し、研修プログラムを開発・実装する